

新設中学校 大規模土地開発構想に基づく住民説明会会議録

- 1 日 時 平成 31 年 4 月 14 日 (日曜日)
開会 午前 13 時 30 分
閉会 午後 14 時 40 分
- 2 場 所 大畔自治会館
- 3 出席者 13 名
- 4 事務局員 教育総務部長 菊池 智之
学校教育部長 前川 秀幸
学校教育部次長 宮本 信一
学校施設課長 大塚 昌浩
学校施設課 大川 裕、阿部 正憲、湯上 貴生
吉岡 久、小木田 譲、齋藤 一男
道路建設課 高梨係長、大塚主査
下水道建設課 安田技師
(株)日本設計 中野氏

5 次第

- (1) 開会
- (2) 挨拶
- (3) 自己紹介
- (4) 計画説明
- (5) 質疑回答
- (6) 閉会

6 議事の内容

(開会 午前 13 時 30 分)

事務局 (阿部)

ただいまより、新設中学校説明会を開催します。
本日はお忙しい中、この説明会に御参加いただきまして、ありがとうございます。
～携帯電話、お手洗い、地震時の避難、録音する旨について～

～事務局員自己紹介～

始めに、教育総務部長の菊池から御挨拶を申し上げます。

菊池部長

改めまして、皆様こんにちは。流山市教育委員会教育総務部長の菊池と申します。本日はお休みの中、お集まりいただきましてありがとうございます。また、皆様方には平素より本市の子ども達のために御支援、御協力いただいていることに対して、改めて感謝を申し上げます。

さて本市は、つくばエクスプレスが開業した平成17年は約15万人であった人口が、本年4月には19万1千人を超えています。特にここ2年で、人口が約1万人増と、子育て世代を含め人口が急増している状況です。今後も人口が増加することが想定されていることから、御案内の通り、2021年4月開校を目指して、新設小学校をこちらの大畔地区に整備させていただきます。

また、新設小学校及び小山小学校の卒業生を受け入れるべく、新設中学校を、2022年4月の開校を目標に大畔地区に整備させていただきます。本日は、流山市まちづくり条例第31条第2項に基づき、地元の方々に新設中学校の計画を説明させていただくものです。

大畔地区の皆様には、大変御迷惑をお掛けしますが、御理解のほどどうぞよろしく申し上げます。

私からのあいさつは以上とさせていただきます。

事務局（阿部）

続きまして、新設中学校の計画について、学校施設課長の大塚から説明いたします。

大塚課長

学校施設課の大塚です。本日は、新設中学校の計画の説明を主旨としていますが、これから新設小学校の工事も始まりますので、新設小学校と合わせて説明させていただきます。

また、先月（平成31年）3月16日に開催した説明会と同じ内容も含まれますので、ご了承ください。

新設小学校の建設工事は、2021年（令和3年）4月の開校に向けて、一部道路の拡幅工事は着手しており、今年4月から小学校に隣接する道路及び小学校敷地内の造成工事を開始し、今年の10月ごろから建築工事に着手し、2021年（令和3年）3月に完成を予定しています。

また、建築工事は校舎を最初から最大で建てるのではなく、I期、II期で分

け、児童増加に合わせて増築をする計画です。増築工事は昨年5月時点の児童生徒数推計及び想定値から、2024年（令和6年）4月に供用開始を予定しています。

直近の工事としては、学校敷地の造成工事及び敷地に接している道路の拡張・新設は、今月から工事を実施する予定です。新設中学校の建設工事は、2022年（令和4年）4月の開校に向けて、小学校の一年遅れの2020年（令和2年）3月ごろから、造成工事を開始し、同年10月ごろから建築工事に着手し、2022年（令和4年）3月に完成を予定しています。

続きまして、「新設中学校建設予定地」についてです。新設中学校は、新設小学校の北側、道路向かいになります。流山おおたかの森駅周辺の公立小中学校の位置関係はスクリーン【新設中学校建設予定地】のようになります。

続きまして、「新設小・中学校周辺整備計画」についてです。

【新設小・中学校周辺整備計画（案）参照】

大きく塗りつぶされた敷地が学校建設地です。北側が新設中学校、南側が新設小学校です。また、さらに南側が中央消防署の移転候補地です。

建設に合わせて、周辺の道路を整備する計画です。新設小学校と新設中学校の間を通る道路④⑤は、車道6m、歩道3mで、ほのぼの館さんの脇から北千葉浄水場まで整備する予定です。

事前に自治会長より、9mに拡幅する道路について説明が欲しいと連絡をいただいておりますので、説明いたします。今年度は、現在拡幅が完了しているところから、森の美術館さんの手前までを工事します。先行して道路工事を行ったところ同様、歩道部分を迂回路として拡幅し、車両は、交互通行できるように工事を進めてまいります。道路切り替え作業のため、数時間程度、車が通れない場合もありますが、事前に看板等でお知らせいたします。

新設小学校の敷地内を通ってる道路については、建設により使用できなくなるため、新設小学校の南側に新たに5m道路⑥を整備します。向かって右の北側に縦に抜けている道路⑦は、通学路として、自転車歩行者専用道路で整備する計画です。新設中学校の周辺道路は、両サイドに行き止まり道路⑧⑨をそれぞれ6mで整備する計画です。公共下水道は、先ほど説明した、車道6m歩道3mの道路④⑤に整備する予定です。

続きまして、「土地開発構想」の概要説明をいたします。

現在、校舎の配置計画はまだできていません。皆様の意見も取り入れながら計画をたてていきたいと思っております。新設中学校の敷地は約3ヘクタールを予定しており、建物の構造、階数は、現在検討中です。規模についても、確定はし

ておりませんが、40学級程度が入る学校になると考えております。建物は、校舎、体育館、武道場、プール及び給食室を整備する計画です。おおよその建物配置は、敷地の右側、東側を校舎エリア、左側、西側を校庭エリアとしています。

新設中学校の施設整備にあたっては、新設小学校同様、平成28年3月に策定した流山市学校施設の個別施設計画より、「学校施設の目指すべき姿」としている「学習空間の充実」「生活空間の充実」「地域との連携の充実」を基に計画してまいります。

また、新設小学校の全体コンセプトは、「高台の緑に溶け込む 森の中の木の学び舎」としていますので、新設中学校につきましても周辺環境と調和のとれた施設を目指したいと考えています。スクリーンは、参考までに、新設小学校の完成イメージを映しています。新設中学校についても、このデザインが踏襲できれば良いと考えています。

以上で、説明を終わりにいたします。

事務局（阿部）

それでは、質疑に入りたいと思いますが、先月3月16日の説明会でいただきました質問で、後程確認することとなっております「新設中学校の両脇の突き当り道路には、ごみの収集車は、奥まで入ってこれるのか。」という質問ですが、新規にごみ収集所を設置する際は、5世帯以上が利用することが、ひとつの基準となるため、現在の基準では、新設中学校の両脇の道路の奥に、ごみ収集所を設置することはできません。

それでは、質疑のある方は、挙手をお願いいたします。差し支えなければ、御名前の後に質問をお願いします。

～質疑～

（別紙1：質疑回答参照）

事務局（阿部）

これで説明会を終了いたします。お忘れ物の無いようにお帰り下さい。本日はありがとうございました。

（閉会 午前14時40分）